

放射化分析研究会臨時拡大幹事会議事録

日時：平成 24 年 2 月 1 日 17 時頃から 1 時間弱

場所：京都大学原子炉実験所 事務棟小会議室

出席者：海老原充，三浦勉，宮本ユタカ，高宮幸一，関本俊

議題

1. 会費納入と会員管理

本研究会の会計幹事の宮本氏より，会員の会費納付に関する資料が配られ，会員の管理の現状について報告があった．報告（資料）の内容は；

- (1) 2012/1/30 の時点で，会員 157 名中 55 名から会費の納付が確認されている，
- (2) 21 名の送付先不明があり，4 名の退会希望があった，
- (3) 法人からの納付はまだない．

これまで会員の管理については余り厳密に実施してこなかったが，会の財政をより健全にすることが望まれること，会員間の利益・不利益のバランスを計るべきこと，こうした業務を一幹事（澤幡幹事）に委ねてきたことは責任や負担の分散という観点から適当でないこと，等を考慮して，今後，次の様な方針で会員管理とそれに基づく会費納入を実施することが適当であるとの結論に達した；

- (1) 会員リストを早急に整備することとし，この責任者を宮本幹事が務める．宮本幹事は必要に応じて他の幹事に協力を求めながら実施する．
- (2) 具体的には，まず 2011 年 11 月に会誌及び会費の振り込み用紙を送った 157 名のリストを作成する．ついで，上記 157 名以外に会員として登録する必要がある生じれば，そのつど，澤幡幹事より情報を宮本幹事に送り，最新の会員リストを作成する．
- (3) 新しい会員リストは.xlsx file 等で作成し，研究会幹事が共有できるようにする．各幹事はその責任で，リストの書き替え，削除等の編集が出来るようにするが，幹事間に周知するとともに，最終責任は会員担当幹事（現時点では宮本幹事）が負うものとする．
- (4) 会のより健全な運営に向けて，会費納入と会誌発送を整合させる．そのために，会員の除名，会員資格停止に関する会則を早急に議論し，施行する．会員の種別を現行より多様化（たとえば，永年会員，名誉会員等の創設）し，これまでの伝統を引き継ぐような，広報活動に資する方策を導入することも考慮する．
- (5) 以上の会員管理に関する業務移行は，JA3 の website のサーバー移行（後述）と同時に始めことが望ましい．その際，メーリングリストについても会員管理の業務の一環として行うことが合理的である．

2. JA3 のホームページをおくサーバーについて

高宮幹事より、JA3 の website のサーバー移行を行う必要があり、それには 3 万円必要であることが報告された。これに付随して、会員のメーリングリストの管理について議論され、会員のメーリングリストは会員情報と密接にリンクすることから、その管理を会員管理の業務とすることが提案され、了承された。従って、今後の会員のメーリングリスト管理は会員幹事（現行では宮本幹事）が責任をもって行う。この時期はサーバーの移行時期と同時に行うことが適当である。

3. 今年度の会の活動について

三浦幹事をから、昨年同様、今年度も 2012 年の分析機器展への放射化分析研究会からの出展が提案された。内容として放射線計測も含めるかどうか、実施形態として別のグループと相乗りを行うかどうか、等について議論した。具体的な内容等については三浦幹事を中心に幹事の意見集約を計り、実施に向けて活動することが合意された。

4. その他

海老原幹事より今後の会の活性化を図るためにいかなのような依頼、提案があった；

- (1) 大浦編集幹事からの伝言として、会誌の活性化のための案を出して欲しい旨の依頼があった。
- (2) JA3 の認知度の低い（と思われる）KUR ユーザーに JA3 の活動を知ってもらい、利用者として連携を強化するために、JA3 への入会を呼びかけてほしい。
- (3) 今後の JA3 の活動を国内ばかりでなく、国外にも向ける必要がある。その足がかりの第一歩として、アジア・オセアニアにおける連携が考えられるが、すでにアジア原子力協力フォーラム(FNCA) (<http://www.fnca.mext.go.jp/>) を通じて連携が成り立っているため、今後、これを強化し、更なる連携の道を探ることを考えるべきであろう。